

押し花でつくるスマホスタンド



世界に1つだけのスマホスタンド
押し花でつくる宝物

講師に習いながら、子どもたちが色とりどりの押し花でスマホスタンドを作成しました。慣れない作業に戸惑いながらも、カラフルな花びらを樹木の葉っぱに見立てて並べてゆき、完成したスタンドのデザインは十人十色。自分だけの作品を眺め、また友達のものを見比べたりしながら楽しい時間を過ごしていました。

9月6日	守山宿・町家“うの家”
------	-------------

令和8年度 守山市地震災害総合訓練



琵琶湖西岸断層帯を起因とする大地震を想定
約200人が本番さながら、真剣な面持ちで訓練

守山南中学校を主会場に行われ、市消防団や市職員、災害協定を締結している市内事業者、団体など約200人が参加。琵琶湖西岸断層帯を起因とする大地震が発生した想定で、情報収集や避難所の開設、ライフラインの復旧など、本番さながらの訓練で有事に備えるとともに、参加者の防災減災への意識を高めていました。

8月30日	守山南中学校 など
-------	-----------

エルセンタ－歴史講座



知的好奇心をくすぐる講座
涅槃会の細部まで丁寧に解説

「描かれたお釈迦様の最期－涅槃図の世界」と銘打った講座が開かれ、約20人が参加。涅槃図は市内の寺院にも複数現存しており、涅槃会といわれる法要の際の本尊となります。講師の井上 ひろ美さん(文化遺産プランニング)が、涅槃図が描かれた国や時代によって変わる構図の違いや人物などを分かりやすく解説しました。

9月6日	エルセンター
------	--------

認知症講演会



新薬や診断後支援など最新情報
認知症への理解深める

市はアルツハイマー月間(9月)にちなみ、「認知症を知り、地域を支える」と題した認知症講演会を開催しました。県立総合病院の長谷川 浩史さんと、藤本クリニックの藤本 直規さんが、それぞれ認知症の新薬や認知症診断後の支援について、最新の情報を分かりやすく話し、約200人の参加者が熱心に耳を傾けていました。

9月6日	市役所 多目的ホール
------	------------

守山市の人口

令和8年8月31日現在
(前月比)

人口	86,060 (+ 8)
男	42,248 (+ 15)
女	43,812 (− 7)
世帯数	36,349 (+ 27)

「9月の市民大会、出てみないか」同期のひと言がすべての始まりだった。バスケットが好き
な知り合いに片っ端から声をかけてチームを作り、ユニフォームをデザイン、チーム名を決め、特訓がスタートした▼中学以来のバスケットは大変だった。体は言うことを聞かず、走ってもすぐ息切れ、シュートは外れ続けた、筋肉痛と打撲が日常になった。それでもSNSやYouTubeで動きを学び、ランニングと筋トレ、ついには人生初のプロテインにまで手を出した。われながら、なかなかの本気度だと思つ▼迎えた試合当日。中学時代は補欠だった自分
が、初めてまともにコートに立った。個人の成績は散々だったが、仲間の活躍もあって結果は1勝1敗。夢中になって、けがなくやり切れたことが何よりうれしかった。声をかけてくれた同期と、一緒に走ってくれた仲間
に心から感謝したい。目指すは次の大会だ。



「9月の市民大会、出てみ